



一宮市内の小中学校では例年読書感想文と読書感想画のコンクールに応募しています。本年度は両コンクールで素晴らしい結果が得られたので報告します。

1 青少年読書感想文全国コンクール 全国学校図書館協議会長賞 受賞

読書の楽しさ、すばらしさ、読書の感動を文章で表現し、豊かな人間性や考える力を育む「第58回青少年読書感想文全国コンクール」(全国学校図書館協議会、毎日新聞社、実施都道府県学校図書館協議会主催。内閣府、文部科学省後援。サントリーホールディングス協賛)の表彰式が2月8日(金)に東京都の東京會館で行われました。本市からは自由読書の部と課題読書の部に各1点ずつ選出し、県のコンクールに提出していました。その結果、尾西第一中学校3年生の八部陽菜さんの作品「芥川龍之介―十五の私からの手紙―」が中学生自由読書の部で全国学校図書館協議会長賞に選ばれました。



そこで八部さんに、受賞作にこめた思いなどを聞きました。

受賞の知らせを聞いた時は、「本当に私が」ととても驚き、嬉しく思いました。

小学校五年生で「蜘蛛の糸」を読んだ時には、自分が生きる為に人を蹴落とす主人公を愚かだと思いましたが、受験生となった今、同じ作品を読んでも、その時とは違った思いを感じました。合格できる人数が決まっている中で、競争しなければならない立場に置かれた時、自分の心の中にも主人公の様な心の闇が存在することに気付き、考えさせられた一方で、その心をコントロールして、自らの道を歩むことが大切なのだと思います。人の心の奥底をあぶり出す作品に触れ、芥川龍之介に聞きたいことが溢れてきたので、この感想文を書きました。じっくりと深く考え抜き、文章にすることで、自分の心とも向き合うことができました。これからも読書を続け、また違った自分を発見し、成長していきたいです。

2 読書感想画中央コンクール 中学生自由読書優秀賞に輝く

読書の感動を絵で表現する「第24回読書感想画中央コンクール」(全国学校図書館協議会、毎日新聞社、実施都道府県学校図書館協議会主催。実施都道府県教委、横浜・名古屋・大阪各市教委、全国造形教育連盟後援。凸版印刷協賛。大和証券グループ特別協力)の表彰式が2月22日(金)に東京都の如水会館で行われました。本市からは自由読書の部と指定読書の部に各1点ずつ選出し、県のコンクールに提出していました。その結果、浅井中学校2年生の田尻実緒さんの作品「あたらしい時間の始まり」(書名:ミヒヤエル・エンデ著「モモ」)が中学生自由読書の部で優秀賞に選ばれました。

そこで、優秀賞に輝いた田尻さんに、受賞作に込めた思いなどを聞きました。



作品は冬休みに完成させました。冬休み中体調を崩してしまいましたが、よい作品を描きたかったので体調が戻ってから長い時間かけて頑張ったので、受賞できて本当に嬉しかったです。この作品「モモ」は、国語の教科書に推薦図書として紹介してあったので、学校の図書館で探してみました。本の表紙に時間に関する内容だと書いてありました。中学生になってから時間に追われる生活が続き疲れてしまうことがあったので、今の生活を変える何かヒントがないかと思い読み、内容が気に入ったので読書感想画をかくてみました。

「モモ」は時間を表す時計が鍵になる作品です。そのため、一つ一つの時計には特有の時間があることを丁寧に表現してみました。

